



include

ソーシャルインクルージョンを実現し、
全ての人々が活躍する社会を創る

就労移行支援事業所

NEUROWORKS
ニューロワークス

自立訓練（生活訓練）事業所

NEUROREWORK
ニューロリワーク

はじめに

ストレスの多い昨今、うつ病などで就労できない、または休職や退職せざるを得ないという方の数は年々増加しており、メンタル不調を抱える方の社会参加が大きな課題となっています。

私たちインクルードは、こうした社会課題を解決すべく
就労をサポートする「就労移行支援事業所 ニューロワークス」および
社会参加・復職・再就職をサポートする「自立訓練事業所 ニューロリワーク」を運営しています。



ニューロワークスは、うつ病やメンタル不調のある方の就職や職場定着へ向けたサポートを行う就労移行支援事業所です。

適性に合った仕事を見つけるためのサポートや、就労後も働き続けるために必要な健康管理、スキル・知識の学習などを通じて、長く安心して働き続けられる支援を行っています。



ニューロリワークは、うつ病やメンタル不調のある方の社会参加や復職・再就職のサポートを行う自立訓練（生活訓練）事業所です。

決まった時刻に決まった場所へ通う訓練の他、知識学習や能力開発、体力回復や生活習慣の改善を目的としたプログラムを通じて、社会参加や復職・再就職の支援を行っています。

各事業所が対象とする利用者層には違いがあるものの、
いずれの事業所にも就労が初めての方や社会参加、復職を目指される方が在籍しています。

ご自身がどちらに適しているかでお悩みの場合は、ぜひスタッフまでご相談ください。

私たちが目指すこと、 私たちにできること。

ニューワークスおよびニューロリワークでは、様々なオリジナル支援サービスを通じてご本人に適した職場や居場所を見つけるための支援を行っています。

生活習慣の乱れを改善する



物事への柔軟性を高める



自己理解を促す



生活リズムやスキルを身に付ける



就職や復職を目指す



1.生活習慣の乱れを改善する



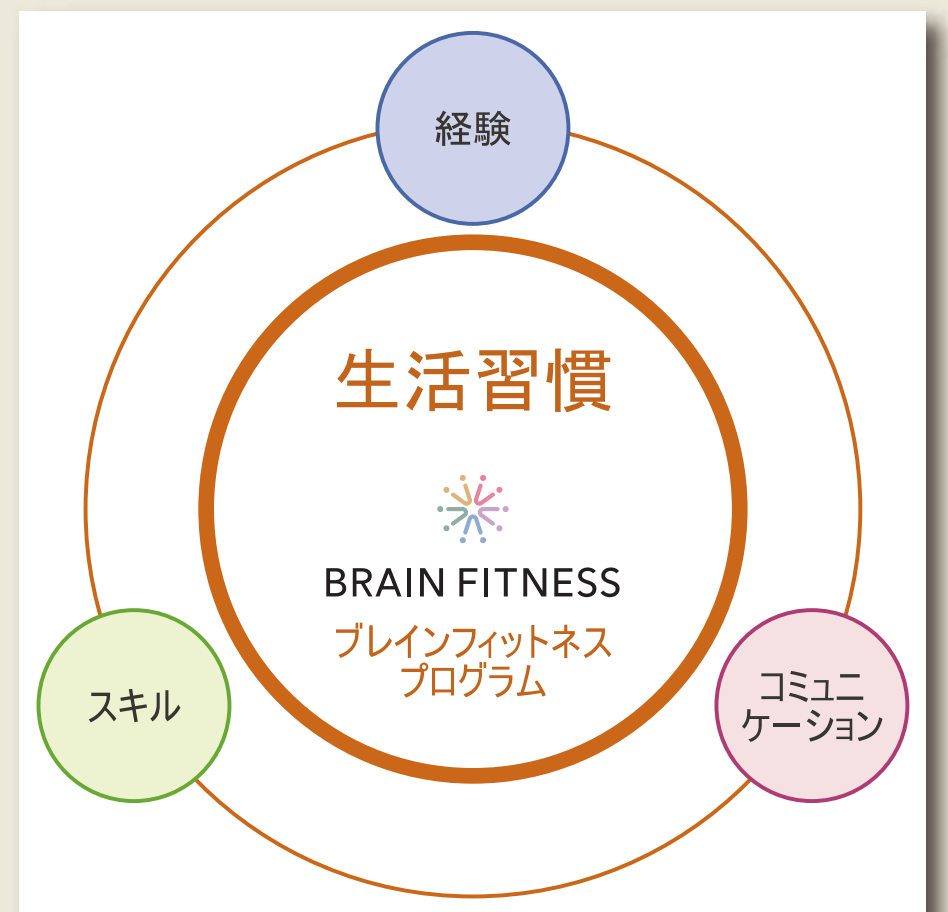
ブレインフィットネスプログラム

生活習慣の乱れは、安定した就労を目指す上で解決すべき大きな課題のひとつです。

当事業所では、精神科医、脳科学者、公認心理師、臨床心理士などの監修のもと、生活習慣の構築をサポートする独自の「**ブレインフィットネスプログラム**」を導入しています。

ブレインフィットネスプログラムは、ブレインフィットネス研究所が開発したプログラムです。

東北大学との認知機能維持に関する共同研究や、うつ病と生活習慣に関するエビデンス研究をベースに、精神科医と脳科学者の監修を受けています。



※ブレインフィットネスプログラムは医師の診断・治療に代わるものではありません。
基本的な健康増進プログラムであり、障害自体の治療ではないことにご注意ください。

プログラム監修者



ブレインケアクリニック院長
今野裕之

精神保健指定医
日本精神神経学会専門医
日本抗加齢医学専門医
一般社団法人日本ブレインケア・
認知症予防研究所所長
医療法人幸和会美咲クリニック顧問
一般社団法人瞳美容研究所顧問



脳科学者
ブレインフィットネス研究所 ディレクター
杉浦理砂

脳科学者
工学博士(応用物理)
東京都立大学特任准教授(現任)
米国スタンフォード大学医学部・
心理学部において、認知神経科学の
研究に従事(2006~2008年)

6つの領域を通じてつくる健康

科学的根拠に基づいたプログラムに取り組むことで、6つの領域を通じて健康に良い生活習慣を身に付けます。

生活習慣の土台をしっかりと形成することで、**レジリエンス**（※逆境に立ち向かい、克服する力）を高め、就労や復職後も高い成果が発揮できることを目指します。



職業適性

基本的
労働管理

対人技能

日常生活管理

健康管理

ブレインフィットネスプログラムを通じて、基本的な健康管理や日常生活管理の習得を目指します。

生活習慣を整えた後は、**就労系プログラム**を通じて対人技能や基本的労働管理、職業適性などを身に付けていきます。

職業準備性ピラミッド

行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
平成29年度版就業支援ハンドブックより参照

2.物事への柔軟性を高める



FITプログラム

物事への柔軟性は、日々の生活の中で生じる不安の原因を発見し、その対処法を考える上で大きな役割を果たします。

FIT (フィット) プログラム (Flexibility Intervention Training 【柔軟性介入トレーニング】) は、柔軟な思考や行動を可能とすることを目指した認知行動療法に基づくプログラムです。様々な講義やワークを通じて、メンタル面がより良い状態に近づくことを目指します。

FITプログラムは、このようなお悩みのある方におすすめです。

ネガティブな考えばかり
浮かんできてつらい

ついカッとなって感情の
ままに人に当たってしまう
ことがある



自分の意見を伝えられずに、
嫌なことでも引き受けて
しまうことがある

気分が落ち込む原因や
対処法が分からない

主なプログラム構成

思考と行動を柔軟にする枠組みを学ぶ

自分のストレス状況や問題に気付く

「スキーマ (自分の思考パターン)」を見つめ直す

適切な自己表現方法を学ぶ

FITプログラムで学べること

1. ネガティブな情報もポジティブな情報も、偏りなく捉えられるようになる。

困難な状況のときには、どうしてもネガティブな情報に目が行きやすくなってしまいます。柔軟性を高めながら、ネガティブな情報だけでなくポジティブな情報にも目を向けることの大切さについて学びます。



2. 自分の意見を伝えつつ、相手の意見も聞ける伝え方ができるようになる。

対人関係で重要なのは、「伝え方」と「聞き方」です。どのような言い方で相手に自分の意見を伝えていけばいいのか、また自分の意見を伝えつつも相手の意見を聞くためにはどうすれば良いかについて学びます。



3. 自分がどんなときにカツとなりやすいのかを知り、対処法を身に付けられるようになる。

怒りの感情をコントロールできない状態が長く続くと、自身にとっても相手にとっても良くない状況になります。自身の心身への負担になったり相手を傷つける言動につながらないことを目指して、その対処法について学びます。



4. 自分の状況を客観的に見て、なぜ落ち込んだのか、どう対処すればいいのかが見えてくる。

自身がどういうときに不調になるのかを把握することは、必ずしも容易ではありません。原因の分析を繰り返し、自身がどのようなときにどのような感情になるか、そしてその効果的な対処法について学びます。



公認心理師からの
メッセージ

柔軟性を高めるためには、実生活で実践し、自身に馴染ませていく必要があります。ぜひ、通所をしながら実践いただければと思います。プログラムはグループで行っていくため、「つらいのは自分だけじゃない」というお声もいただきます。

3. 自己理解を促す



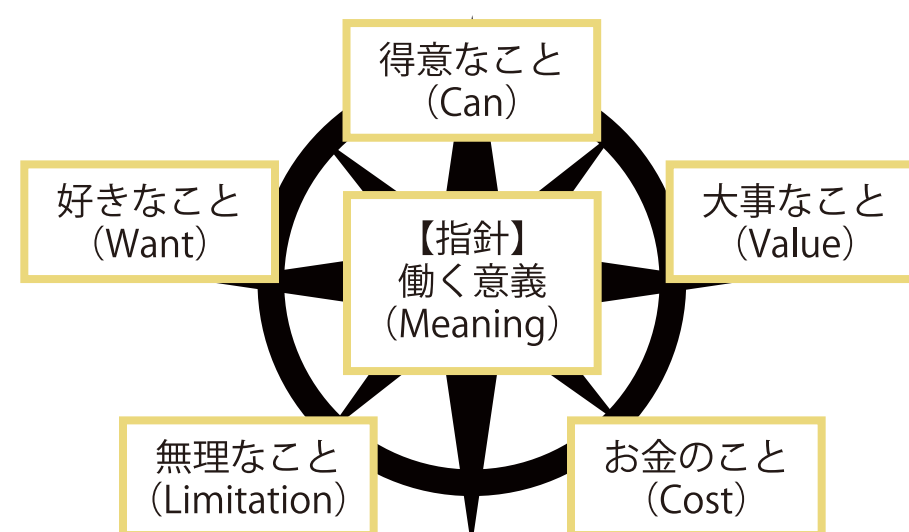
FINDプログラム

自己理解は、今後のより良いキャリア選択を実現し、長期の安定就労を目指す上で大きな役割を果たします。

FIND (ファインド) プログラム (Finding Inner New Direction) は、自己理解を促し、長く安定して働くために必要な基礎を作るプログラムです。6つの要素から構成されるキャリアの羅針盤を、自己理解ワークを通して掘り下げていきます。

「FINDプログラム」の進め方

FIND プログラムでは、自己理解を通してキャリアの羅針盤を作っていきます。全5回のプログラムで構成され、各回には個別のテーマが設定されています。(※進め方は次ページ参照)



FINDプログラムは、このようなお悩みのある方におすすめです。

自分のやりたいことがよくわからない

働くための価値観や軸がはっきりしない



どんな仕事に向いているのかわからない

働く上での優先順位がはっきりしない

FINDプログラムで学べること

1.自身の好みや適性をパターンとして、客観視することができる。

自己理解ワークでは様々な問いかけを通して、好きなことや得意なことを自分の言葉でまとめていきます。言語化を繰り返すことで自身の好みや適性の「パターン」に気づき、客観的に捉え直すことができます。



2.働く上で、自身が求めることやゆずれないことがわかる。

自己理解ワークでは、価値観や働く意義を深掘りしていきます。様々な角度から自問自答を繰り返し言語化していくことで、働くことに対して求める環境や譲れない条件などが少しずつ明確になっていきます。



3.頭の中が整理されることで、優先順位が明確になる。

ブレインストーミングやカテゴリー化といった手法を用いた自己理解ワークを通じて、頭の中に散在する情報を整理します。働くことに対する優先順位を明確にすることで、今後の取り組みの方向性を決定付けることができます。



各回の進め方（全5回）

Aパート

概要説明

Bパート

自己理解ワーク 1

（興味・適性・価値観・
お金・制約について考える）

Cパート

自己理解ワーク 2

（ワーク1で考えた内容を軸に、
働く意義について考える）



自己理解は他者から与えられるものではなく、自分で感じ、考え、言葉にすることで、少しずつ見つけていくものです。1回のワークで終わりにするのではなく、自分が納得できるまで何度もトライしてみてください。

4.生活リズムやスキルを身に付ける



塾制度

生活リズムやスキルの習得は、安定した就労を目指す上で大きな役割を果たします。

塾制度は、「生活塾」「職場塾」「就活塾」の3つの塾（※）を通じて、就労に必要な生活リズムやスキルを身に付けることを目指すプログラムです。

※「職場塾」および「就活塾」は就労移行支援事業所 ニューワークスのみでの実施となります。

「塾制度」で学べること

1.生活塾

生活習慣を整えながら、社会活動に必要な対人スキルや認知・感情の管理方法を学びます。

2.職場塾

会社で活動するために必要な基本的なビジネススキルやマナーを学びます。

3.就活塾

自己理解を深めながら、応募に必要な書類の作成や内定に向けた面接対策などを学びます。

塾制度は、このようなお悩みのある方におすすめです。

生活リズムを
安定させたい

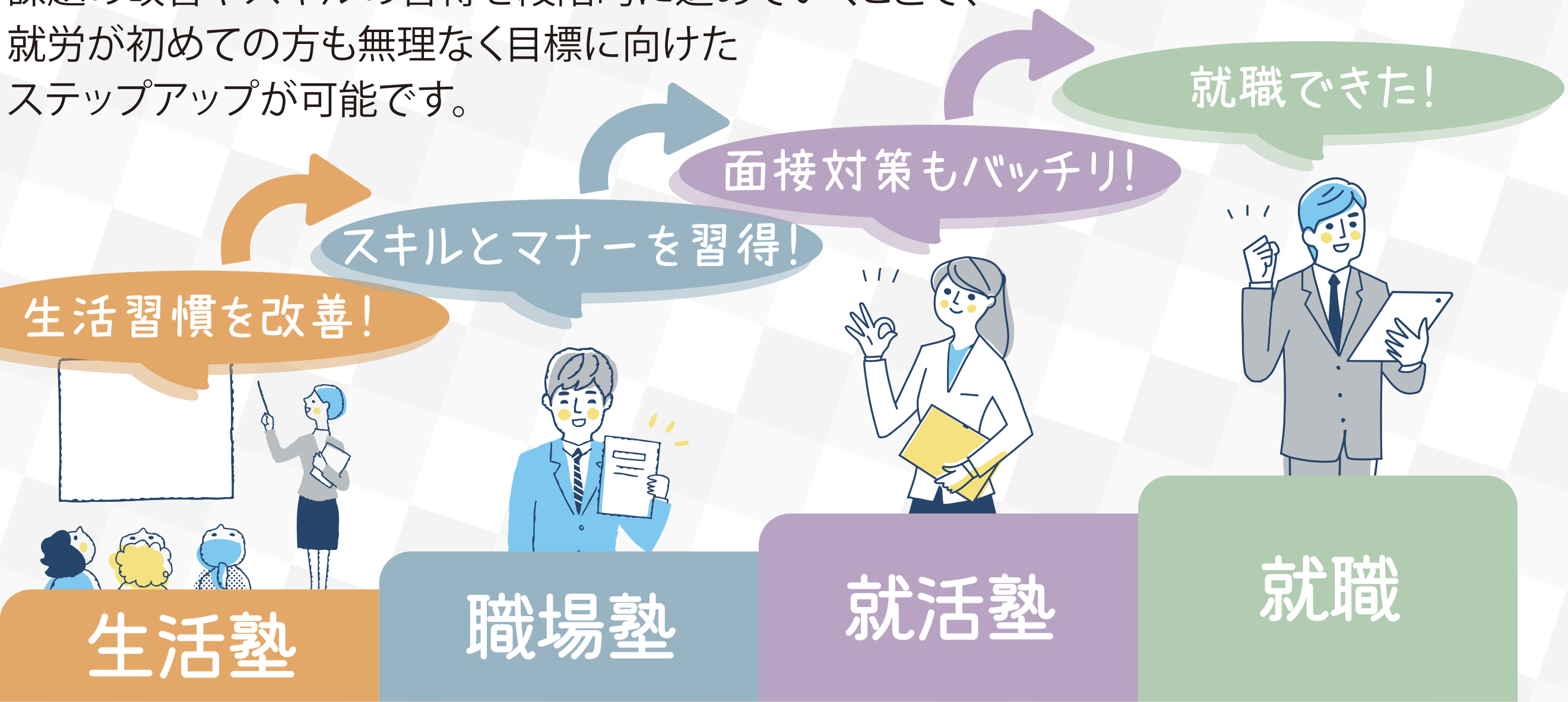
職場に必要な社会的な
スキルを身に付けたい

就職までのイメージが
わからない

就職までにどんな準備が
必要かわからない



課題の改善やスキルの習得を段階的に進めていくことで、就労が初めての方も無理なく目標に向けたステップアップが可能です。



「塾制度」の進め方

塾制度では、「生活塾」を出発地点として以下の流れに沿って進めていきます。

①計画を立てる

②訓練を受ける

③記録を付ける

④評価する

各塾にて運動系、生活系、社会系のプログラムに参加して単位を取得し、自身の計画(=目標)を達成するとその塾の卒業となります。3つ目の就活塾の卒業後は、スタッフと共に就職を目指します。(※就職までの間は、ご希望に応じて各種のプログラムが受けられます。)

▼日々の取り組みと成長を実感できるよう、3つのレポートで記録と評価を行います。



トレーニングレポート

訓練を通して、得意だったことや苦手だったことなどを記録します。



デイリーレポート

毎日の体調や、訓練での取り組みとその成果を記録します。



ウィークリーレポート

1週間の訓練活動の振り返りや、目標達成について記録します。



開発者からの
メッセージ

塾制度では、仕事でも求められることを段階的に身に付けつつ、自身の訓練結果を日々振り返ることで生活・社会・就労といったあらゆる面での自己理解を深めていきます。就職活動が初めての方だけでなく、長く安定して働きたい方にもおすすめです。

日々の訓練プログラム（一例）

生活習慣改善プログラム



健康に良い 食事や睡眠の座学

身体や心の健康を促進・維持するために、適切な食事や睡眠について学びます。



健康のための 有酸素運動・筋トレ

運動に不慣れな方にも無理のない範囲で適切な運動を行います。



ストレスケアの マインドフルネス

脳の過活動を抑え、ストレスを緩和する効果が期待できるマインドフルネスを行います。

運動インストラクター在籍!



運動プログラムは、指導の経験が豊富な専門のインストラクターによって行われます。

その他のプログラム

- ・脳の疲労回復とは
- ・習慣化のための7つのコツ
- ・不足しがちな栄養素

- ・ウォーキング
- ・デュアルタスクトレーニング
- ・家でできる体幹トレーニング
など

ビジネススキル系プログラム



ビジネスマナー

名刺の渡し方や電話の応対、メールの書き方など、仕事に必要なマナーを学びます。



SST・JST トレーニング

チームワークや対人能力など、社会や職場で必要なスキルを学びます。



報・連・相トレーニング

職場でのコミュニケーションを円滑にする「報告」「連絡」「相談」方法を習得します。



PCスキル

eラーニングシステムを導入しています。各種PC関連の資格取得を目指せます。

その他のプログラム

- ・EQ(心の知能指数)
- ・ブレインストーミング
- ・問題解決技能トレーニング

- ・情報収集プログラム
- ・タスク管理
- ・伝えるための技術
など

就職活動支援プログラム



就職についての理解

就職までの流れや障害を開示するメリットとデメリット、企業研究の方法などを学びます。



企業・業界・職種研究

スキルや通所実績などを把握したスタッフと共に、自身に合った職場を見つけます。



応募書類の添削

採用担当者に「会いたい」と思われる応募書類を目指してスタッフが添削を行います。



模擬面接

面接で自分の伝えたいことがしっかりと伝えられるよう、模擬面接を重ねます。



模擬職場

実際の職場を想定して模擬的に業務に取り組むことで働くことへの理解を深めます。



企業訪問・職場実習

実際の職場を訪れることで、企業と求職者の双方に認識の違いがないかを確認します。

その他のプログラム

- ・仕事の基本8ヶ条
- ・長く働くために必要なこと
- ・一般枠と障害枠の違い
- ・企業見学会

など

復職活動支援プログラム



休職原因の分析

休職に至った原因を分析し、再発をしないための予防策を明確にしていきます。



休職報告書の作成

休職期間中の目標を定めて、目標を達成するための準備や対策などを考えます。



心の知能指数を鍛える

社会生活の中で適切な行動がとれるよう、常に自身の心をコントロールする術を学びます。



会話術

復職後の職場で円滑に意思の疎通ができるよう、基本的な会話の要点を学びます。



チームビルディング

チームでの目標を達成をするために、メンバーのスキルや経験を活かす方法を学びます。



利用者企画プログラム

復職後に企画力を発揮できるよう、新たな視点からの創造力を身に付けていきます。

その他のプログラム

- ・ブレインストーミング
- ・文章作成
- ・段取り力を鍛える
- ・復職前模擬面談

など

個別学習環境

グループプログラムへの参加だけでなく、ご希望に応じて個別学習スペースにて各種の個別訓練用プログラムも選択可能です。



動画学習

動画教材で仕事に生きる知識やスキル、考え方を学びます。



読書

様々な書籍を通じて、働く上で必要な知識を学びます。



アート系

ストレスを忘れるために集中できる作業に取り組みます。

復職・再就職支援コース

お一人おひとりの状況やご希望に合わせた、復職・再就職支援コースが選択可能です。

短期復職コース(3ヶ月で復職を目指す) / しっかりセルフケアコース(6ヶ月で復職を目指す)

【短期】1ヶ月目 / 【しっかり】1～2ヶ月目
セルフケアシートの作成、生活リズムの安定など

【短期】2ヶ月目 / 【しっかり】3～4ヶ月目
休職原因の分析、再発防止策の確立など

【短期】3ヶ月目 / 【しっかり】5～6ヶ月目
復職面談練習、実務課題の完成など

再就職サポートコース(6ヶ月～12ヶ月で再就職を目指す)

1～2ヶ月目 : セルフケアシートの作成、生活リズムの安定など
3～5ヶ月目 : スキル学習、資格取得対策など
6～8ヶ月目 : 就職活動準備、企業見学、外部企業実習など
9～12ヶ月目 : 応募書類作成、面接対策、就職活動など

※復職・再就職までの期間や取り組みは目安です。個人の体調や訓練の進行状況に応じて異なります。

定着支援

就職・復職後も、職場にて安定した就労が実現できるようスタッフが支援します。



1. 就職内定・復職承諾

就労条件や職場環境などについて不安に思っていることがあればご相談ください。復職の場合は、スタッフが企業との間に入って配慮点などの調整をすることも可能です。



2. 定着支援計画書の作成

ご本人より「〇ヶ月後にはこのようになっていたい」といったご要望を伺い、スタッフと共に計画書を作成します。



3. サポート方法のすり合わせ

他の支援機関や医療機関とも連携を取り、どのようなサポートを行うか確認します。障害を開示せずに就職された場合は、企業訪問を行わずに支援を行います。



4. 就職・復職後の定期面談

毎月、定期的に面談を実施し、仕事面や生活面で不安がないかを伺います。必要に応じて企業や医療機関と連携し、安心して働けるようサポートします。



5. 「定着支援事業所」によるフォロー

就職・復職から半年が経過すると、定着支援事業所でのサポートに移行します。生活習慣のカウンセリングや見直しなどを定期的の実施し、職場への定着を目指します。

※定着支援の流れはご希望によって異なります。詳しくは各事業所のスタッフまでお尋ねください。

資料請求・見学の申し込みから利用開始までの流れ

1. 資料請求・見学の申し込み・お問い合わせ

サービス内容や利用についての不明点や詳しく知りたい点がありましたらお気軽にお電話ください。見学予約や資料請求も可能です。



2. 事業所の見学

サービスや各種のプログラム内容についてご案内します。お悩みなどがあればお気軽にご相談ください。体験実習にご興味のある方は、実習日の予約が可能です。



3. 体験実習

3日間を目安に、事業所にて体験実習にご参加いただけます。プログラムの体験を通じて、事業所を利用されるかどうかをご判断いただけます。



4. 利用意思確認

利用される場合は、お住まいの地域の市役所または区役所の障害福祉課などの窓口にて受給者証の申請手続きを行います。スタッフがサポートいたしますのでご安心ください。



5. 受給者証の発行と利用開始

受給者証が発行されると、事業所の利用が正式に開始となります。就職・復職・社会参加に向けて、自身のペースで進めていきましょう。



利用開始から卒業までの主な流れ

I. 利用開始

就労や復職にあたっては週に5日の通所が目標ですが、週に3～4日の通所から慣らしていくことも可能です。日々の訓練を通じて、就労できる生活習慣を身に付けていきます。→P18

II. 不調の原因分析

就労できない原因や、休職に至った原因を明確にします。今後の目標や対策を考える上で不調の原因を明確にすることは、大切な一歩となります。

III. 支援計画書の作成

スタッフとの面談を通じて、どのような取り組みや活動が必要であるかを計画書にまとめます。3ヶ月をひとつの期間として目標を設定し、目標を達成するために日々の訓練（プログラム）に取り組みます。

IV. プログラム参加

様々なプログラムを通じて、生活習慣の改善やビジネススキルの向上を目指します。希望に応じて個別訓練も可能です。毎週末には、スタッフと共に1週間の取り組みの振り返りを行います。→P4～13

V. 定期面談

スタッフとの面談を通じて作成した支援計画書を基に、3ヶ月を目安に進捗面談を行います。3ヶ月ごとの大きな目標だけでなく、1週間ごとの小さな目標の設定と振り返りも行います。

VI. 就職／復職活動準備

スタッフと共に模擬面接を通じて就職／復職活動の準備や対策を行います。復職を目指される場合は、ご希望に合わせてスタッフが企業や主治医と連携して調整を行うこともあります。→P14～P15

VII. 就職／復職面談

就職や再就職を目指される場合は、非公開の求人情報なども参考に自身の適性や要望に合った企業をスタッフと共に探します。

VIII. 定着支援

就職または復職後も定期的にスタッフと面談を行い、生活面と業務面で不安がないかを伺い半年間にわたって職場への定着をサポートします。半年間を過ぎても定着に不安がある場合は、「定着支援事業所」のサポートを受けることができます。→P17

利用料金

世帯収入状況に応じて、以下の4区分の負担上限月額が設定されます。

ひと月に利用したサービス量にかかわらず、それ以上の負担は生じません。
利用料金の詳細は、スタッフまたはお近くの市区町村窓口までお問い合わせください。

区分	世帯収入状況	負担上限額
生活保護	生活保護受給世帯	0円
低所得	市区町村民税非課税世帯（注1）	0円
一般1	市区町村税課税世帯（所得割16万円（注2）未満） ※入所施設利用者（20歳以上）、グループホーム利用者を除きます（注3）。	9,300円／上限
一般2	上記以外	37,200円／上限

（注1）3人世帯で障害者基礎年金1級受給の場合、収入が概ね300万円以下の世帯が対象となります。

（注2）収入が概ね600万円以下の世帯が対象となります。

（注3）入所施設利用者（20歳以上）、グループホーム利用者は、市町村民税課税世帯の場合、「一般2」となります。

ご利用対象

就労移行支援事業所

NEUROWORKS
ニューロワークス

うつ病、適応障害、発達障害、双極性障害、統合失調症、知的障害などがある18歳以上65歳未満の方。障害者手帳をお持ちでない方でも、医師の診断・定期的な通院（自立支援医療）などがあれば利用対象になります。

自立訓練（生活訓練）事業所

NEUROREWORK
ニューロリワーク

うつ病、不安症、双極性障害、統合失調症、発達障害（ADHD・ASD）、知的障害などがある18歳以上65歳未満の方。障害者手帳をお持ちでない方でも医師の診断・定期的な通院（自立支援医療）などがあれば自治体の判断により利用可能です。

※いずれも事業所ごとに受け入れ体制・設備などに違いがあります。詳しくは各センターまでお問い合わせください。

よくあるご質問

Q. 通うのに地域制限はありますか？

A. どの地域からもご利用いただけます。
通勤訓練を兼ねて、他都府県から通うことも可能です。

Q. 利用期限はありますか？

A. 受給者証発行後、最長2年間にわたってご利用いただけます。

Q. 障害者手帳がなくても利用できますか？

A. 医師の診断・定期的な通院(自立支援医療)などがあれば自治体の判断により利用可能です。

Q. 週何日から利用可能ですか？

A. ご自身の目標に合わせてスタッフと相談しながら決定していきます。

Q. 利用するのに、何か必要なものはありますか？

A. お住まいの市区町村(福祉サービス課)にて発行される障害福祉サービス受給者証が必要です。発行に必要な手続きはスタッフもお手伝いしますのでご安心ください。

Q. パソコンを利用したことがないのですが、初心者でも学べますか？

A. レベルに応じたパソコンスキルを学べるスキル別eラーニングを導入しています。

Q. 生活習慣の改善はどのように行うのですか？

A. 最初から全ての生活習慣を変えるのではなく、取り入れやすいものから少しずつ実践していきます。毎週、改善の進捗を確認し、その都度アドバイスいたします。

Q. 就職先を斡旋してくれるのですか？

A. 人材紹介業ではないため斡旋とは異なりますが、積極的な実習先の開拓や就活サポートを行い、視野を広げた就職活動を実現します。

Q. 復職時期の判断などはスタッフが行いますか？

A. 復職の判断は産業医や主治医の判断を基に、三者で連携をとって行います。
ご希望に応じて、事業所での訓練状況や実績をスタッフから関係機関に共有します。

事業所一覧

就労移行支援事業所

NEUROWORKS
ニューロワークス

五反田センター

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-1-22 プラネットビル 2 階

【受付時間】 平日 9:00-18:00

☎ **03-6420-0720**

大塚センター

〒170-0004 東京都豊島区北大塚 2-27-3 富士建 LK ビル 3 階

☎ **03-5980-9023**

吉祥寺センター

〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山 1-6-11 K2 ビル 3F

☎ **0422-26-9503**

横浜センター

〒231-0013 神奈川県横浜市中区住吉町 5-64-1 VELUTINA 馬車道 201

☎ **045-225-8561**

大宮南センター

〒330-0843 埼玉県さいたま市大宮区吉敷町 1-62 マレー S・T ビル 303

☎ **048-658-1844**

春日部センター

〒344-0062 埼玉県春日部市粕壁東 1-2-19 玄養ビル 201

☎ **048-720-8243**

久喜センター

〒346-0003 埼玉県久喜市久喜中央 1-7-9 セントラルハイツ 21 1F

☎ **0480-35-6005**

新松戸センター

〒270-0034 千葉県松戸市新松戸 1-426 BEARE 新松戸ビル 3 階 B 号室

☎ **047-712-0480**

博多センター

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 1-4-13 発陽第一ビル 3 階

☎ **092-409-0453**

自立訓練（生活訓練）事業所

 **NEUROREWORK**
ニューロリワーク

新宿御苑センター

〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-1-9 JESCO 新宿御苑ビル 402

☎ **03-6273-2647**

三軒茶屋センター

〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋 2-2-16 YK ビル 4 階 A

☎ **03-5787-5941**

横浜関内センター

〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町 2-18-1 YS ビル 4 階

☎ **045-228-8641**

大宮センター

〒330-0846 埼玉県さいたま市大宮区大門町 3-197 星野第 2 ビル 2 階 C

☎ **048-729-7390**

所沢センター

〒359-1113 埼玉県所沢市喜多町 16-7 第一武井ビル 2 階

☎ **04-2946-7255**

川越センター

〒350-1122 埼玉県川越市脇田町 16-29 川越脇田ビル 2 階

☎ **049-299-4872**

梅田センター

〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満 2-11-8 アメリカンビル 703

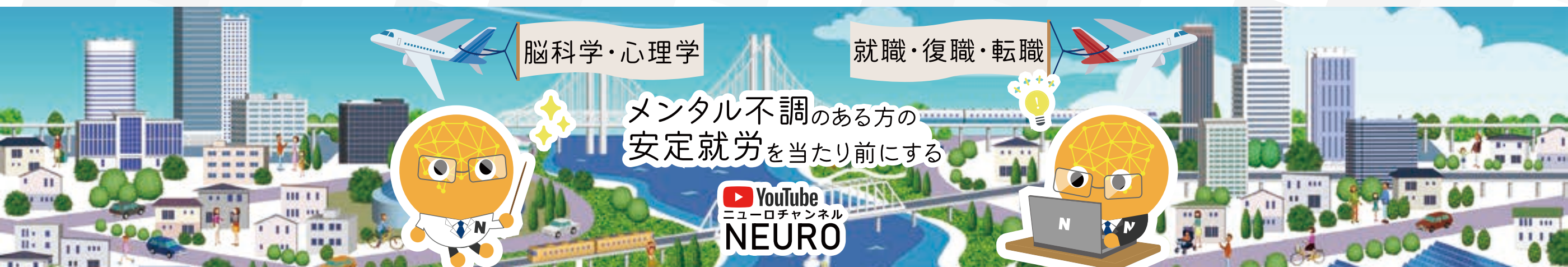
☎ **06-4397-4819**

※ニューロワークス春日部センターおよび久喜センター、ならびにニューロリワーク梅田センターは、就労移行支援事業所と自立訓練（生活訓練）事業所を併設している多機能型事業所です。

 **インクルード相談支援センター**

渋谷／吉祥寺／横浜関内／所沢／博多

オリジナルYouTubeチャンネル「ニューロチャンネル」にて、 就労&復職&生活習慣に関するお役立ち動画を250本以上公開中！



最新動画はコチラからチェック！ ▶▶▶▶



その他のSNSも随時更新中



運営者情報

会社名：インクルード株式会社

住所：〒150-0002東京都渋谷区渋谷1-1-3 第35荒井ビル4階

代表取締役：尾崎 浩一

事業概要：就労移行支援事業所 ニューロワークス

自立訓練(生活訓練)事業所 ニューロリワーク

特定相談支援事業所 インクルード相談支援センター

ブレインフィットネス研究所

